

「イタリア美術における キリスト教の世界」



2016年6月3日～14日

アンドレア神父様と行くイタリア周遊12日間の旅

Photo by 蕨由美



6/3 成田空港にて



成田から12時間の飛行で午後6時ごろミラノの空港に着き、19:30にホテルにチェックイン



イタリアの旅二日目(6/4)の朝、出発前に、近くのRedentore 教会へ



サンタマリア・デッレ・グラッツエ聖堂



サンタマリア・デッレ・グラッツエ聖堂の旧修道院で、ダヴィンチの「最後の晩餐」を鑑賞

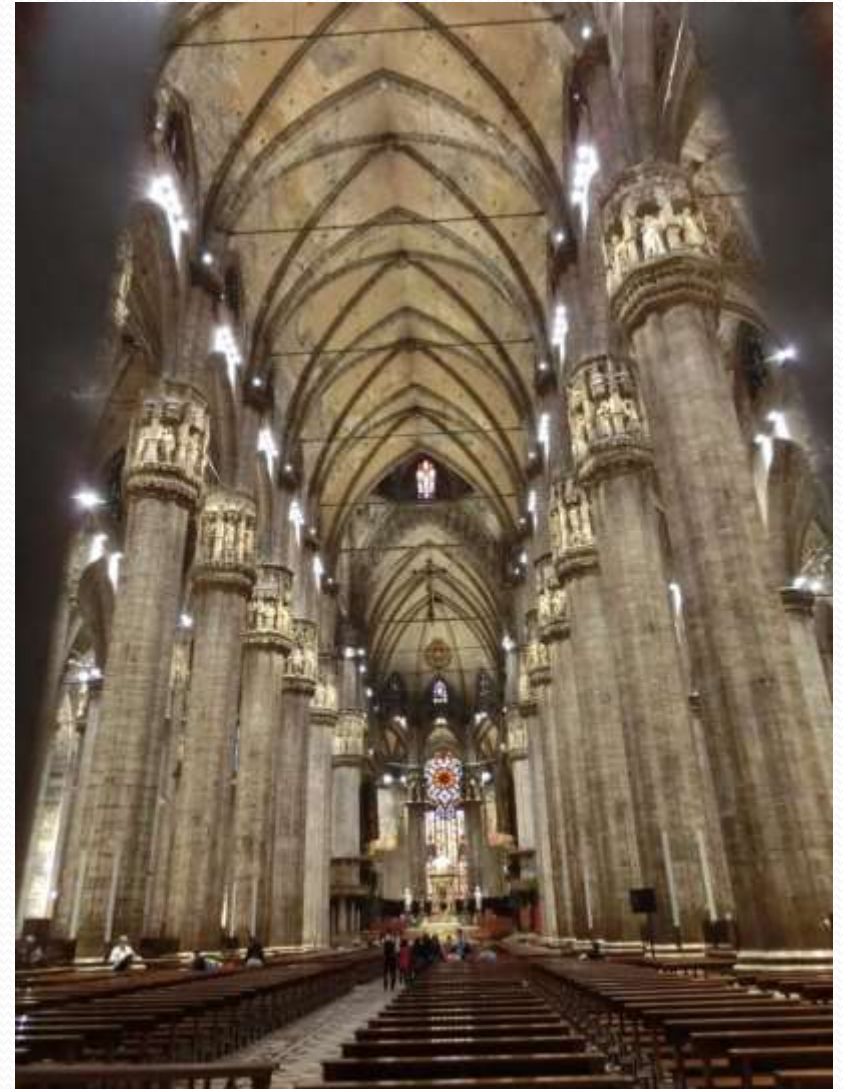


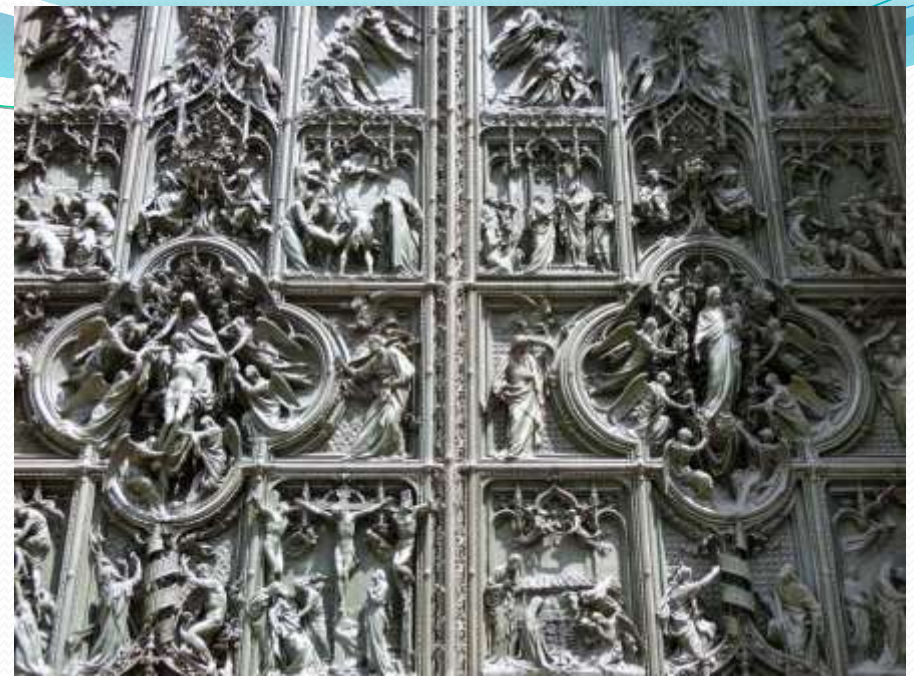






19世紀のアーケード(ガレリア)を通して、ドウオーモへ









↑ダヴィンチ像

ミラノの守護聖人の聖アンブロジウス教会↑



イタリア二日目(6/4)の夕方、ミラノ郊外のアンドレア
神父の育ったトレヴィーリオの聖ペトロ教会へ













イタリア三日目(6/5日曜日)ヴェネチ
アへ。素晴らしい天気の中、船で大
勢の観光客で賑わうサン・マルコ広
場へ。
マルコ大聖堂やドゥカーレ宮、ガラ
ス工房を見学しました。







ドゥカーレ宮・ガラス工房を見学







18:45からサン・マルコ大聖堂でアンドレア神父様がイラクに派遣されている司祭と共同司式されたミサに与りました。ビサンチン様式の荘厳なモザイク画の堂内、オルガンの音色、イタリア語ラテン語の歌と祈りの声が響きます。内部撮影禁止のため、画集・Webから引用、右下は右横の小聖堂の聖母子(2007年撮影の写真)





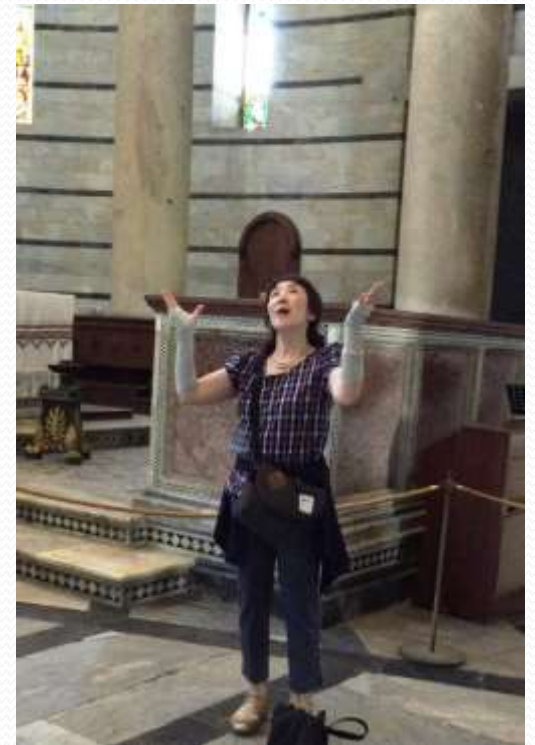
イタリアの旅四日目(6/6) ヴェネチアのサンタルチア駅近くのホテルを7:30に出発、徒歩と船でバスターミナルの波止場へ行き、ピサへと向かいました。



イタリア四日目(6/6)ピサに到着、シャトルバスに乗り、産屋物屋に並ぶ参道を歩いてレストランへ。
昼食のあと、斜塔やドゥオーモの建つ「奇跡の広場」に着き、斜塔を眺めてから洗礼堂を拝観しました。

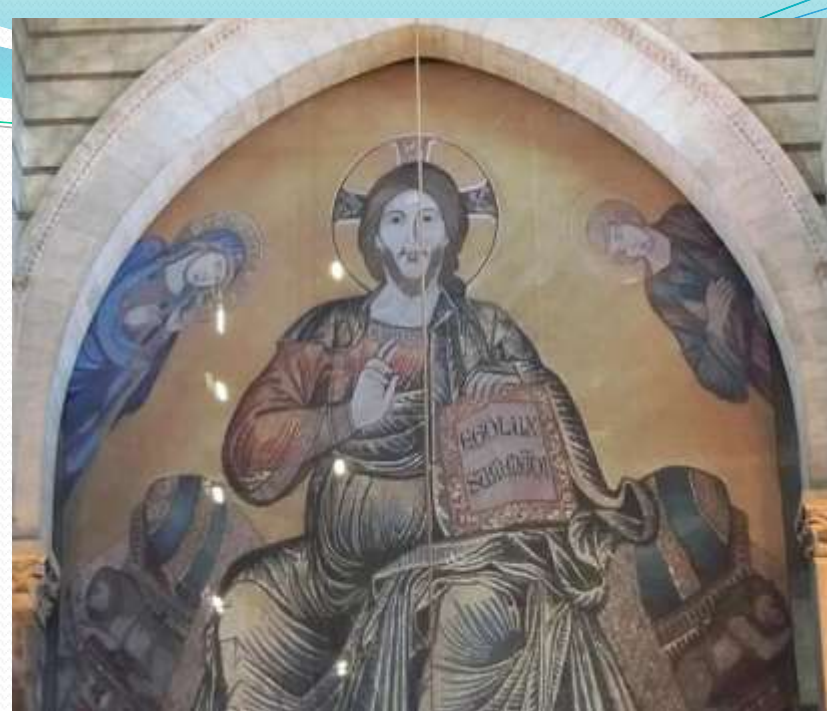












ピサーノ作の説教台



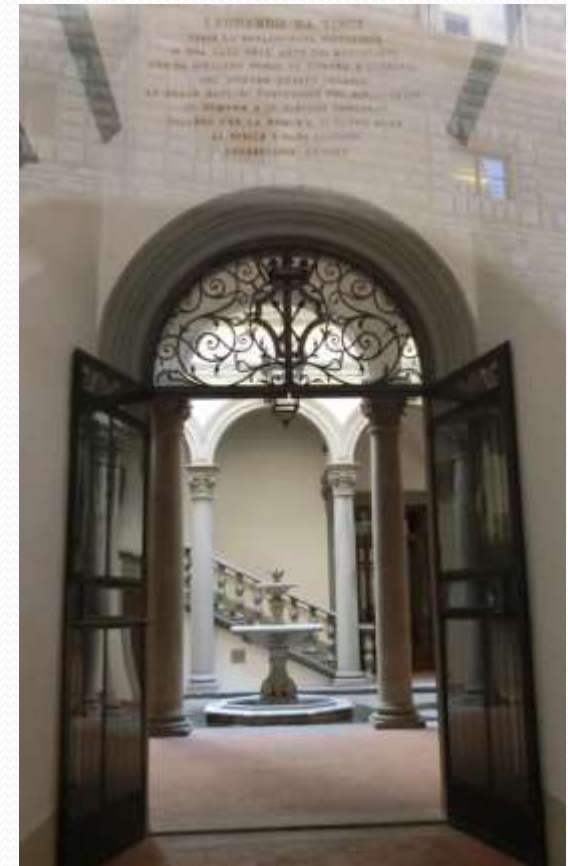


イタリア四日目(6/6)夕方 フィレンツェのホテルに到着、
 サンタマリアアノベラ教会の小聖堂で、アンドレア神父様司式でミサ。





イタリア五日目(6/7)の午前中は、フィレンツェの街を歩いての観光





イタリア五日目(6/7)の午前中は続いて、サンタクロチェ教会へ。
聖堂の中には、ミケランジェロやダンテなど著名人のお墓があります。









←マキャベリのお墓



ガリレオ・ガリレイのお墓→





イタリア五日目(6/7)の午前中、フィレンツェのアカデミア美術館を見学



ミケランジェロ晩年期の未完成なピエタ像

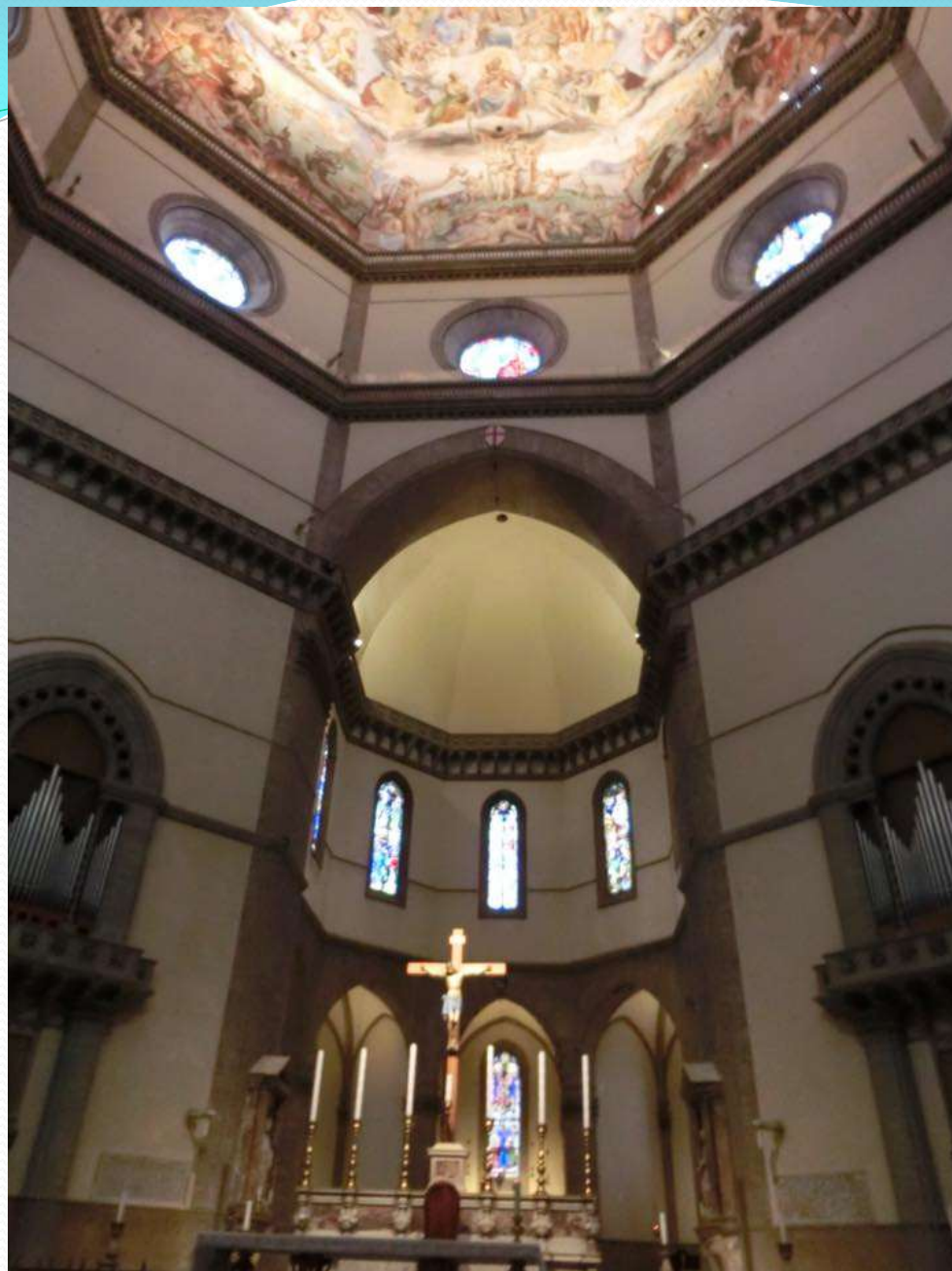




イタリア五日目(6/7)の午後は、フィレンツェの花の大聖堂と
その前にある洗礼堂を拝観

















夜のフィレンツェの街を散策。
サンタマリアアノベラ教会からシニョリーナ広場、
ヴィッキオ橋の夜景



イタリアの旅六日目(6/8)、フィレンツェからアッシジへ向かう途中シエナの町に立ち寄りました。
シエナは13～14世紀にフィレンツェと並んで栄えた都市で、美しいカンポ広場やドゥオーモなどその中世の佇まいと、聖女カタリナの聖地として昔から味わいある巡礼地となっています。
まずは城壁の外でバスを降り、聖ドメニコ聖堂と聖女カタリナの生家などを訪ねました。









イタリアの旅六日目(6/7)の午前中、シエナのドウオーモを拝観









イタリアの旅六日目(6/8)、夕方、シエナから聖フランシスコの聖地アッシジへ。
サンタマリアデリアンジェリ教会へ着くと、アンドレア神父様の結婚講座の教え子の家族たちが歓迎の紙を持って出迎えてくださいました。



ポルチウンクラ小聖堂(撮影不可のため案内冊子から)









「アッシジの聖フランシスコ宣教修道女会」
のホテルに着きました



イタリアの旅 七日目(6/9)、朝早く聖フランシスコ大聖堂の地下の聖フランシスコのお墓のある神聖な小聖堂で、アンドレア神父様司式のミサを捧げました。



(写真は、撮影禁止ですので、右はポスターと絵葉書から)





イタリアの旅七日目(6/9) 午後から、山道を登り、スバジ奥山中のカルチェリの庵(隠遁所)へ。



スバジオ山上のロッカ・マジョーレ（中世の城跡）
眼下に聖クララ教会をはじめ、アッシジの街が
一望できましたが、急な雷雨に慌てて山を下り
ました。



イタリアの旅七日目(6/9)午後スバジオ山から下山した後、山麓のサンダミアーノ教会へ。
聖クララは、若きフラシスコに共鳴して、裕福な家に嫁がせようとする親の家を飛び出し、サンダミアーノ教会に修道女となって住み、その御遺骸はサンタキアラ教会に葬られています。

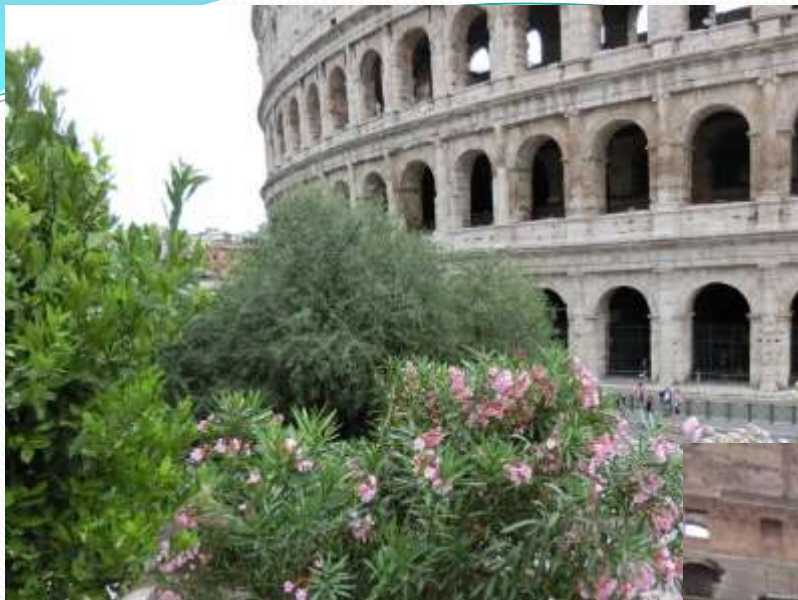


サンタキアラ教会



イタリアの旅八日目(6/10)

6:45から、「アッシジの聖フランシスコ宣教修道女会」修道院が管理を任されている隣接の「巡礼者の礼拝堂」でミサを捧げました。
この小さな聖堂は街道に面して、貧しい巡礼者のために、1457年に宿泊所と共に建てられました。



イタリアの旅八日目(6/10)、静かなアッシジからローマへ移動、古代ローマの遺跡コロッセオとフェロ・ロマーノを見学しました。



フェロ・ロマーノ





イタリアの旅八日目(6/10)夕方、サンタマリアマジョーレ教会へ。
「いつくしみの聖年の聖なる扉」のひとつがあり、お祈りをしてから聖年の扉をくぐって入堂しました。
この大聖堂は4世紀「真夏に雪が降る所に教会を建てよ」という聖母のお告げで献堂された教会です。



サンタマリアマジョーレ教会聖年の扉



サンタマリアマジョーレ教会・聖堂内部







イタリアの旅九日目(6/11)、この日はサン・ピエトロ大聖堂地下小聖堂でのミサと、「いつくしみの聖年の扉」を通るといってお恵みをいただく日。歴代の教皇の墓所になっている神聖な小聖堂でアンドレア神父様とミラノ宣教会総長様が共同で、日本語での心あたたまるミサを司式してくださいました。







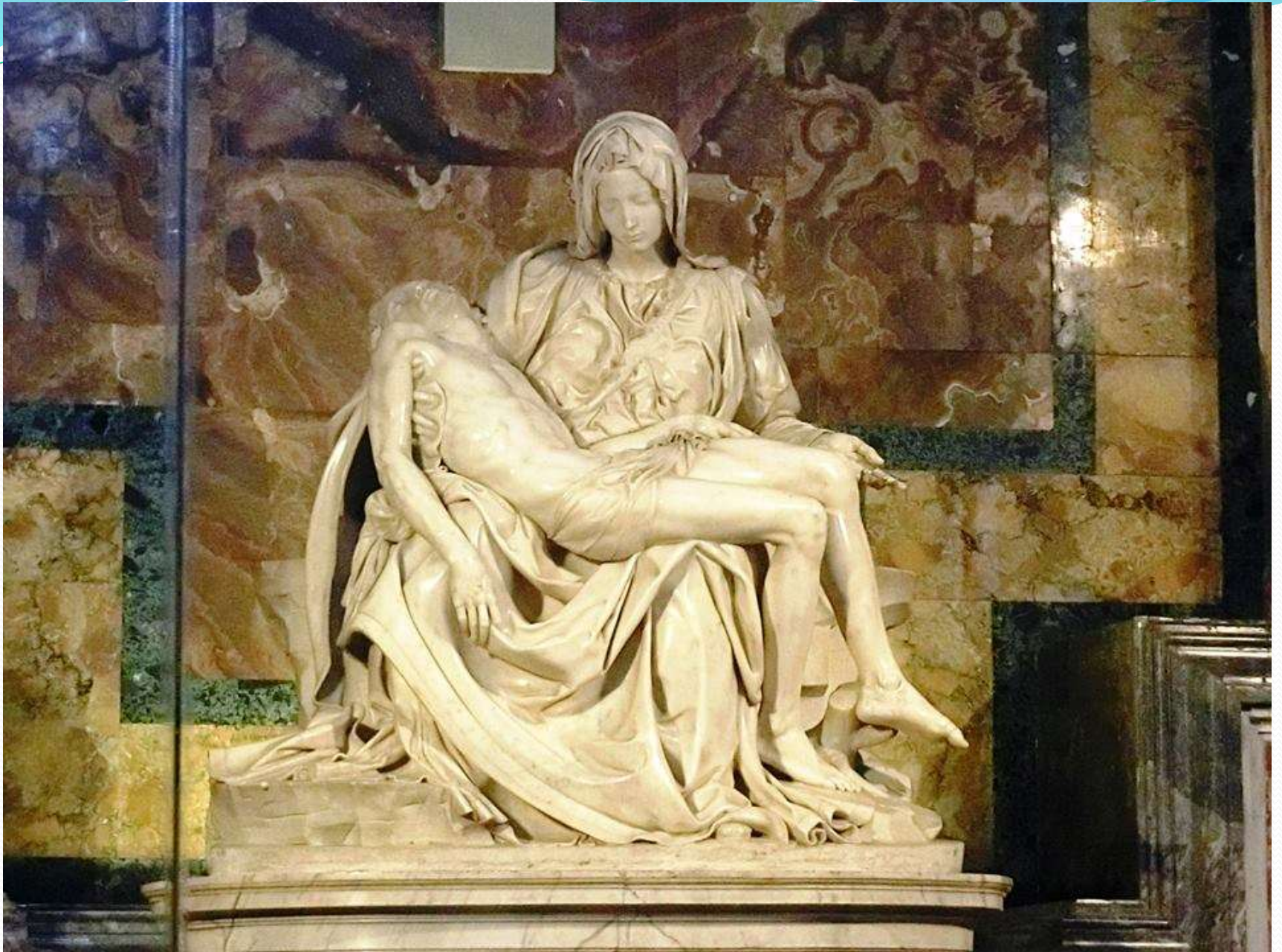
ミサの後、一旦外に出て、サンピエトロ
大聖堂の聖年の扉を通ります。



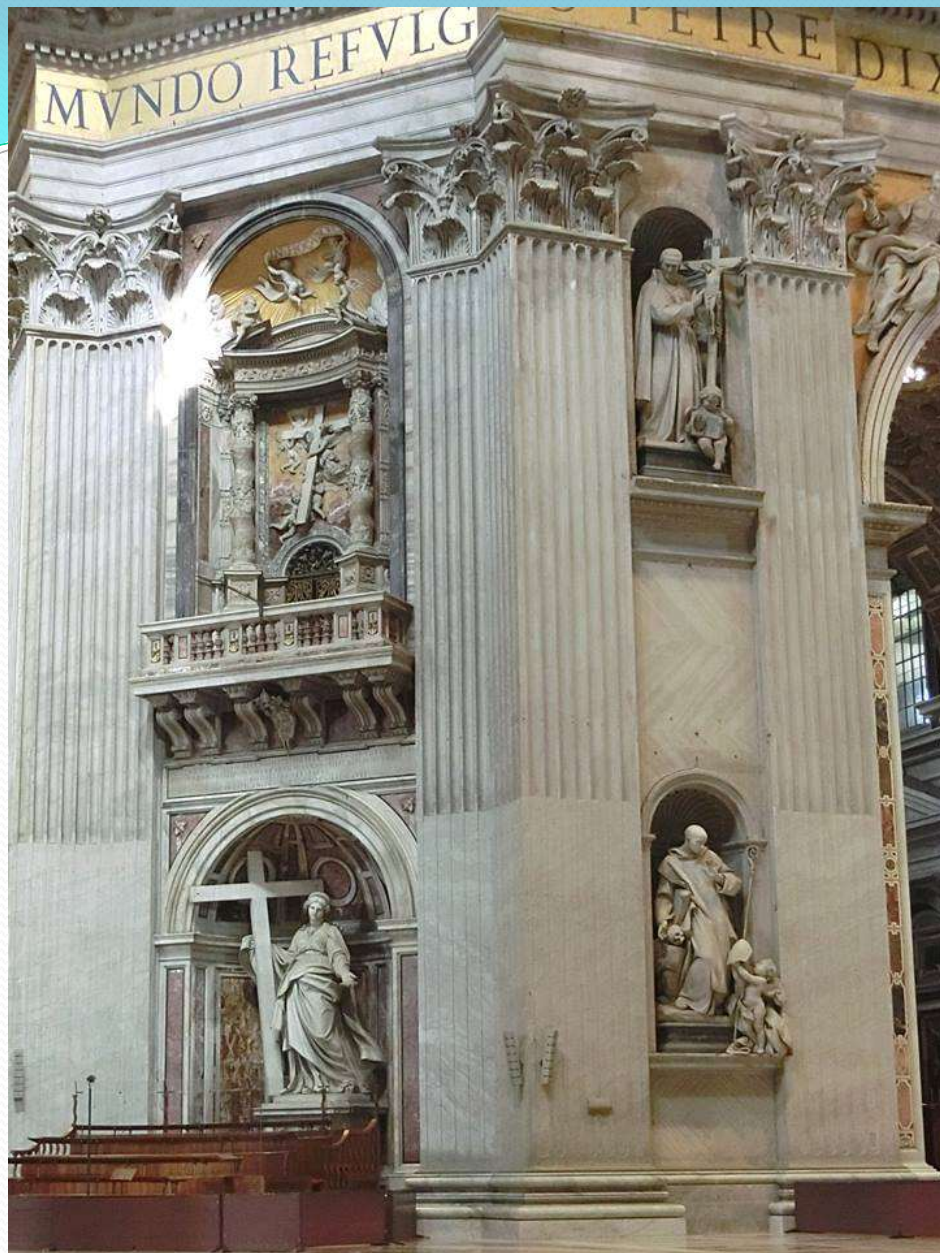
鍵を持っているのは、ペトロではなく
アンドレア神父様



中央扉の「フィラレーテの扉」(15世紀の作 旧聖堂から移設された由緒ある扉)







聖ヘレナ像は、アンドレア・ボルジの作





グレゴリオ暦を採用した
ローマ教皇グレゴリウス13世の墓碑



スチュアート記念碑の嘆きの天使





ラファエロの「変容」の
モザイク画



ドメニキーノ作「聖ヒエロニムスの聖体拝領」



ピエトロ・ビアンキ作「無原罪の御宿り」



バチカン鉄道の駅舎ホーム
今は職員用百貨店



サンピエトロ大聖堂の裏側
教皇がお住まいのサン・マルタ館





イタリアの旅十日目(6/12) 午前中は、ボルゲーゼ美術館の見学。



「プロセルピーナの略奪」ベルニーニ(1621年)



「ダビデ」ベルニーニ25歳(1623-1624年)の時の作品



「雌山羊アマルティア」ベルニーニ17歳の作品(1615)



「アポロンとダフネ」ベルニーニ(1622年)



「アエネアスとアンキセズ」ベルニーニ(1618-1620)



「真実」ベルニーニ(1645-1652)



「パオリーナ・ボルゲーゼ」アントニオ・カノーヴァ(1805-1808)



「馬丁たちの聖母」カラヴァッジオ(1605-1606年)



「ゴリアテ(自画像)を持つダビデ」カラヴァッジオ (1609-1610)



「聖ヒエロニムス」 「バッカスに扮する自画像」 「聖ヨハネ」 カラヴァッジョ



「降架」
ラファエロ
(1507)



イタリアの旅十日目(6/12) 日曜日正午の「パパ様との祈りと祝福」にサンピエトロ広場へ。
教皇さま司式の「病者と障害者の聖年ミサ」が終わって、12時半ごろ大広場の通路をオープンカーで「パパ様の祝福」が！！教皇様はすばやく通り抜けながら、聖年大巡礼の何万人の巡礼者を祝福されました。



イタリアの旅十日目(6/12)
 午後はフリータイム。アンドレア神父様について、カラヴァッジョの絵のある教会などを巡り、テルミニ駅近くのホテルまで歩きました。
 サントンジェロ城、ナヴォーナ広場などローマ名所めぐりに出発です。



ナヴォーナ広場のそばのサン・ルイージ・デイ・フラン
チェージ教会。

ここにカラヴァッジョの絵があり、コインを箱に入れるとマ
タイ三部作(1599～1600年「聖マタイと天使」、「聖マタイ
の召命」、「聖マタイの殉教」)が灯りの中に浮かび上が
りました。











続いて、サンゴスティーノ教会へ。
左手の小祭壇の箱にやはりコインを入れると、浮か
び上がった「ロレートの聖母」像に感動しました







イタリアの旅十日目(6/12)夜、テルミニ駅前のサレジオ会の教会「サクロ・クオーレ・デ・ジェズ(イエズスの聖心教会)」聖堂へ。7時からアンドレア神父様と猪口神父様の共同司式で私たちの旅を感謝するミサを行いました。

この日のルカによる福音朗読。社会的に差別されていた女性のイエスの行為に、イエスが「あなたの罪は赦された」と言われる場面で、猪口神父様の説教「『いつくしみの聖年』の意義はまさにこの「罪の赦し」にあり「神の赦しは、困難人々の回心の上にこそある」と話されました。







イタリアの旅11日目(6/13)、最後の日の朝、フリータイムサンタマリア・デリ・アンジェリ教会を訪ねました。古代ディオクレティアヌスの大浴場集会所跡を利用して、1562年ミケランジェロの設計建てられた聖堂で、ロレンツォ・ロットの「天使の聖母」が祀られていました。



イタリアの旅11日目(6/13) テルミニ駅前五百人広場のヨハネ・パウロ2世の銅像にも、最後のご挨拶。ホテルに戻り、ロビーで最後の祈りと、イタリアにではここでお別れするイタリア在住の方、遅れて帰国される神父様などの方々とのお別れとお礼のごあいさつをしました。、14:30アリタリア航空成田行きの便に搭乗、延12日間のイタリアの旅は無事終わりました。
最後までご覧いただきありがとうございました。